

日印ホメオパシー国際カンファレンス2013



in インド



JPHMA 認定ホメオパス、インド人ホメオパス 最新の世界のホメオパシーの症例発表

『第一医学ホメオパシーの世界』

2013年

10月18日(金)・19日(土)・20日(日)



ハーシュ・ニガム
ホメオパス・医師

1992年 Gorakhpur の B.R.D. 医学カレッジで MBBS を取得。1993～1995年、Dr Jagdish Cahdra Nigam DF (Hom) の下、ホメオパシー修行を行う。1999年、Jhansi の M.L.B 医学カレッジで、医学士(人衛生理学)を取得。英国ファクティティー・オブ・ホメオパシー会員、MF (Hom.) 2001～2002年、法科学、免疫とホメオパシー、慢性腎不全のホメオパシー的管理、乾癬とホメオパシーでのチクングンヤ熱の流行における流行病因子の有効性研究(第66回 LIGA コングレスでの発表)等、多くを発表。



プラサンタ・バナジー
ホメオパス・医師

インドのコルコタ(カルカッタ)でホメオパシー診療を行っており、ホメオパシーメソッド「バナジープロトコル」を開発、腫瘍やガンなど様々な慢性疾患、難病の治療で成果を上げているインド人ホメオパス。バナジー父子のホメオパシー「バナジープロトコル」はアメリカ、横浜での国際オンコロジー(腫瘍)学会など現代医学の複数の学会でも発表され注目され、先日はオランダのホメオパシーの癌学会で、由井会長とともに、癌へのホメオパシー「バナジープロトコル」での治療症例を発表。日印、癌及び癌以外の慢性疾患の治療についての発表が予定されている。日本にも2度来日。震災後の筑波で開催された JPHMA ホメオパシーチャリティー国際カンファレンスにも父子でかけつけてくれ発表をいただく。



プラティップ・バナジー
ホメオパス・医師



由井 寅子
ホメオパシー博士

日本ホメオパシー医学協会 JPHMA 会長/カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー CHom 学長/農業生産法人 日本豊受自然農株式会社 代表・農民/英国ホメオパシー医学協会名誉会員/日本でのホメオパシー第一人者であり、20年の臨床研究で由井氏が開発した Zen メソッドは医原病、食原病、発達障害、インナーチャイルドなどの難治の症例を治療に導く手法として、世界から注目を集めている。「インナーチャイルドが待っている!」(ホメオパシー出版)をはじめ著書、論文、訳書多数。



ギータ・ラニ・アローラ
クラシカルホメオパシー
治療家

インドで最も古い月刊誌「The Homeopathic Heritage」の編集者。補完医学における NIH、UCS のサーティフィケートコースを修了。喘息、アレルギー障害、乾癬、発疹、GERD(胃食道逆流症)、鬱、不安、学習障害等多くのケースを治療。2011年12月の LIGA 第66回コングレスにおいて必須統合の臨床的検証、2012年9月デリーでのケント・メモリアルレクチャーで、甲状腺障害におけるホメオパシーの使用、国内および国際レベルで論文を発表。B.Jain 製薬会社の研究開発ユニットのヘッド。



ファローク・マスター
ホメオパス・医師

医学士試験で首席となり金メダルを授与。インドにおいて Iscadore セラピーの重要なセンターとして Dr Michael Lorenz に認識され「表彰状」を授与。インド国内、英国、アメリカ、カナダ、スロバキア、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、ノルウェー、ギリシャ、キプロス、マレーシア、オランダ、ドイツ等の海外で25年以上の教授経験をもつ。50冊以上のホメオパシーの著書がある。専門論文は英国ホメオパシージャーナル、ホメオパシーリンクス等、国際的に有名なジャーナルで発表されている。「The Homeopathic Heritage」のチーフ・エディター。

— 他、日本人ホメオパス多数発表予定 —

2013年12月 第14回JPHMAホメオパシーコングレス『世界へはばたく日本の力』 東京で開催決定!!